

【今年度の重点目標】

しなやかでたくましく、他者とよりよくつながる伯太中学生徒を育てる
～学力向上と前向きな「あい」にあふれた集団づくりを通して～

【校訓】
独立 協力 技術

青春の夢

R3. 5. 17 伯太中学校だより

(文責:校長 田中 修)

校舎の周りには、コシアカツバメが飛び交っています。「ツバメが巣を作る家は幸せになる」と言われていて、いなくなったあとでも巣を壊さないのが普通です。その意味でも、伯太中学校では幸せいっぱいになれそうです。

ちなみに、ウグイスの「法法華経（ホーホケキョウ）」のように、さえずりのリズムを日常の言語に当てはめた表現を「聞き做し（ききなし）」と言いますが、ツバメはどうなるでしょう。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

「土食って虫食って渋ーい」だそうです。

これは、「図解雑学 鳥のおもしろ行動学」柴田敏隆著（ナツメ社）に書かれていました。



この本には、その他にも、ナントロピズム、ツバメの水の飲み方や渡り鳥の秘密など、鳥全般について

の話題がびっしり書かれています。

また「子どもと一緒に覚えたい 野鳥の名前」山崎宏監修（マイルスタッフ）では、聞き做しが「地球地球、地球儀」となっていました。

皆さんには、実際どのように聞こえていますか？ そして、聞き做しを作るとしたら、どうしますか？ 少し、耳を澄ましてみましょう。

ところで、これらの本は、学校司書の小林さんに紹介してもらいました。

ちょっとしたことに「？」な疑問や興味が出たら、いろいろな本を紹介してもらおうとよいですね。本によって、疑問が解決したり、楽しみが広がったりします。



いつもお花をいただいております。
今回も、授業公開日当日の朝、お届けくださったので、飾らせていただきました。本当にありがとうございます。

授業公開へのご参加

ありがとうございました

連休があけた5月7日（金）、今年度最初の授業公開日でした。ご参加いただいた保護者の皆さま、ありがとうございました。ご都合のあわなかった方もおられたと思います。今年度計画しております授業公開は、感染状況を見ながら、可能な限り開催を考えておりますので、またの機会にぜひお越しください。

一堂に会してのPTA総会は中止し、リモートを活用して、私から学校経営についてのお話をさせていただきました。今年度から中学校で全面実施となる、新学習指導要領のことや、それに関わって評価の観点が変ることなどお伝えしました。

難しい話よりも『百聞は一見に如かず』です。「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業を、実際に見ていただけたことが何よりもよかったです。



英語と音楽では、ペア学習の場面がありました。
英語では、既習表現でのやり取りを大切にします。音楽では、聴くことで表現の幅が広がります。



自立活動では、生徒の自立をめざし、心身の調和的発達の基盤を培います。



本年度の教育重点目標には、「学力向上と、前向きな『あい』にあふれた集団づくり」というサブテーマをつけました。認め合い、支え合い、高め合いの「あい」でもあり、愛情の愛でもあります。今まで取り組んできた「つながり力」向上プロジェクトの成果を継承し、よりよい集団づくりを通して、しなやかでたくましい生徒の育成を目指します。



道徳は、2年前から一足早く新学習指導要領と同じ考えで道徳科としてスタートしています。「考え、議論する道徳」の視点を大切にします。



グループ学習は、活動が目的ではなく、それぞれの授業のねらいに応じて展開します。

伯太中教職員は、お子様の成長を願い、時に優しく時に厳しく、情熱と愛情をもって一人一人としっかり向き合い、寄り添ってまいります。

ゴールデンウィーク中の 部活動の取組から

昨年この時期は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全国一斉で臨時休校でした。

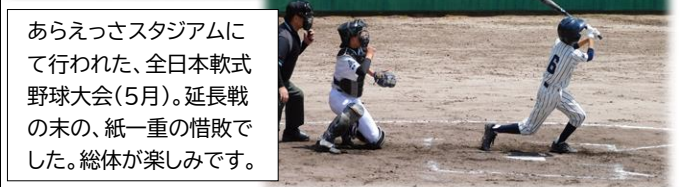
今年は、様々な制約はあったものの、大会や練習試合、発表会に向けた練習などに取り組むことができました。

部活動では、結果の良し悪し以上に、目標達成に至るまでの過程が大切です。

目標設定の力、課題解決力、継続する力、協力する力、コミュニケーション能力…等々、文化部・運動部、個人競技・チーム競技に関わらず、部活動で培える力は多岐にわたり、まさに「生きる力」が育まれます。



ソフトテニスの市長杯(4月)。寒さを感じるあいにくの天候の中、最後までボールを追いかけてきました。



あらえっさスタジアムにて行われた、全日本軟式野球大会(5月)。延長戦の末の、紙一重の惜敗でした。総体が楽しみです。

中学生は、思春期真っ只中にあり、心身とも劇的な変化に大きく揺れ動きます。どうぞご家庭でも、ほっとできる安心感を醸成していただきたいと思います。

困難に向かっていく生徒の力を信じ、自立・自律の力を引き出せるよう、しっかりと機が熟すのを待つ時間も大切にしたい視点です。